

れんけい

第21号

編集・発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

福島テックプラン
グランプリ2019

7月27日(土)、郡山ビューホテルアネックスにおいて「第2回福島テックプラングランプリ」を開催しました。これは福島県リーディング起業家創出事業の中で株式会社リバネス、福島県と共に推進している、大学教員等の研究シーズと企業をマッチングさせ社会実装するための「福島テックプランター」のマッチングイベントとなります。

およそ100名が来場する中、最終選考まで残った9チームによる熱のこもったプレゼンテーションが行われました。

企業等で構成された審査員による審査の結果は、下記のとおりです。

※括弧内はプレゼンターの所属と氏名

※敬称略

【最優秀賞】

・エコラボ（医療創生大学 梅村 一之）

【企業賞】

- ・NOK賞：エコラボ（医療創生大学 梅村 一之）
- ・菊池製作所賞：J-Acoustics（日本大学工学部 長尾 光雄）
- ・クレハ賞：Weavgent（福島県立医科大学 横内 裕二）
- ・堺化学工業賞：高機能バイオマス炭製作所（福島大学 浅田 隆志）
- ・古河電池賞：雑草エナジー（福島大学 鈴木 美乃里）
- ・ACSL賞：アイガモツ（会津大学 成瀬 継太郎）
- ・DNP賞：Weavgent（福島県立医科大学 横内 裕二）
- ・三菱電機賞：株式会社岩谷技研（同 岩谷 圭介）

当日は9チームによるプレゼンテーションが始まる前に株式会社人機一体の代表取締役社長・金岡博士氏による基調講演が行われました。

また、プレゼンテーションの後もライトニングトークやポスターセッションなど、研究者と来場者が意見を交わす機会が豊富に用意されました。

この「福島テックプランター」の詳細は株式会社リバネスのウェブサイトに詳細が掲載されておりますので、こちらを併せてご覧ください。

→ <https://techplanter.com/fukushima2019/>



※この記事の写真は漆原未代氏によるものです。

未来の起業家育成事業

海外で自分の力を
試してみよう！



昨年度に引き続き、海外視察研修を含む、未来の起業家育成プログラムが始まります。

この取り組みは、福島県内の大学生が持つ「好奇心」や「興味」を究め、「課題意識」を解決し社会で実現していくために、学生本人の関心事を起業などの形で社会実装するというキャリアを考えるためのセミナーです。

10月から始まるキャリアディスカバリーセミナーを始め、2月末に控えたシンガポールへの海外研修に向けて、アイデアのブラッシュアップやプレゼンテーションの練習を行います。

今年は誰が選ばれるのか！？

ふくしまキッズ博

7月27日と28日、福島市のあづま総合体育館にて「ふくしまキッズ博」が開催されました。例年どおり玩具メーカーが多くのブースを出展する会場の一角で、福島学院大学、桜の聖母短期大学の学生ボランティアによる「創作遊びコーナー」を今年も開設し、多くの子とも達で賑わいました。

今年の創作遊びは、

- ①ゴーゴーフィッシング
- ②こまぶんぶん
- ③ニンニン忍者屋敷～修行の巻～
- ④つくってな・ら・そ♪～ムジカパーク～の4種類です。



5月から準備を始め、授業の後の時間を使って準備を重ねて満を持して挑んだ本番。

子どもたちに楽しんでもらえるかな？と最初は少し緊張している様子でしたが、子どもたちがやってくるとみんな自然と笑顔になります。

子どもたちもそれぞれのコーナーを回り、4つ全部のコーナーを制覇した子どももたくさん！みんな夢中になって遊んでいました。

「ふくしまキッズ博」はまだまだ続きます！秋から冬にかけて「ふくしまミニキッズ博」を開催する予定ですので、お楽しみに♪



子どもと青年の異世代交流事業

今回は「キャンプの外あそび～森のひみつ基地を作ろう！～」をテーマに参加者の親子と共に約半日の活動をしてきました。



当日はあいにくの雨でしたが、集まった子どもたちは元気いっぱい！

2つのチームに分かれて、ひみつ基地づくりスタートです！

支給されたのは、はさみ、ロープ、ブルーシート。それ以外は森から材料を集めてひみつ基地を作ります。

「どんな材料でひみつ基地作ろうか？みんな材料を探してきて」というインストラクターの声に「はーい」と森の中に散らばってゆく子どもたちは、森に落ちている大小様々な枝を集めてきました。

大きい枝を3本、ロープで束ねて、ひみつ基地の骨組みを作ります。子どもたちを指導する学生たちも、直前に覚えたロープの結び方を実践します。

皆で力を合わせて支柱を完成させ、次は屋根や壁を作っていきます。1つのチームは、木で作った骨組みにブルーシートを掛けて屋根にする、シンプルなテントスタイル。写真では見えにくいですが、摘んできたお花も飾り付けていましたよ。

もう1つのチームは、集めた枝をロープで土台の骨組みに結びつける方法で、屋根を作っていました。よく見ると、玄関もきちんと作られています。飾り付けのあじさいも素敵ですね♪

作業時間は約1時間という短い時間だったため、「もっと続けたい～！」というお子さんもちらほら。

これをきっかけに、自然での遊びの楽しみを知ってもらえたらと思います。

さて、大学生たちの活動はこのひみつ基地づくりの後も続きます。

それは、11月に行うイベントの目的や名称を決めるワークショップです。

2時間ほどの短時間ではありますが、11月に行うイベントの骨格も固まりました。その中にはひみつ基地づくりで見たり聞いたりしたさまざまな場面で得られたヒントがふんだんに盛り込まれています。

次回以降も、今回のように子どもたちのアクティビティを参考に、イベントの内容を固めていきます。



第16回コンソーシアム研究 フォーラムに参加しました

8月31日(土)・9月1日(日)に熊本市の熊本学園大学にて行われた、「第16回全国大学コンソーシアム研究フォーラム」は年に一度、全国の大学コンソーシアムが集まり情報交換を行うイベントです。

毎年恒例のポスターセッションでは全国から19の団体が出展し、アカデミア・コンソーシアムふくしまでも当コンソーシアムが取り組んでいる事業を他県のみなさんに紹介しました。

今年は福島県のこれからを切り拓く大学発ベンチャーの創業支援と起業家育成を目指すリーディング起業家創出事業に加え、福島県の森林についての理解を深めるための、森林自己学習支援事業にも注目が集まりました。豊かな森林資源を持つ県は他にもありますが、このような事業を行っている大学コンソーシアムは他にはないようで、「是非本県でも実施したい」というお声もいただきました。

基調講演は経済学者で熊本県立劇場館長の姜尚中氏です。

大学コンソーシアムとキャンパスアジアの可能性

というテーマで、地域、国同士、人のモビリティ（移動性）を高めることで情報が行き来し個々の知見を広げていくことが今後大切なのではないか、またそのときの大学コンソーシアムの役割というお話をさせていただきました。

シンポジウムは「大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり」で討論がありました。論点となったのは、地域に根付いた人材をどう確保するのか？です。

会場となった熊本県でも高校卒業時の進学に伴って都市部へ流出する数が多いことが問題となっており、いかに若者の県外流出を食い止めるかに力を入れる一方で、県外へ出て他の地域を見る経験の大切さも必要であるという意見も出ました。

なかなか答えの出ない課題ではありますが、そこにもひとつの場所に留まるのではなく、他の地域へも入りしてモビリティを高めていくことが大切なのではないかという意見が出ました。

最終日の9月1日(日)に行われた分科会では、5つの分科会に分かれてそれぞれパネルディスカッションやワークショップが行われました。

全国に48の団体がある大学コンソーシアムの関係者が一堂に会す機会はほとんどなく、年に一度のこの場が貴重な情報交換の場となります。ここで得られた知見を基に、今後もアカデミア・コンソーシアムふくしまを発展させていければと考えております。



福島東稜高校 合同座談会

7月31日、福島東稜高等学校普通科特別進学コースが合宿を行っている国立磐梯青少年交流の家にて、同校1年生～3年生20名を対象とした「進路セミナー」を行いました。

今年は、会津大学大学院コンピュータ理工学研究科の大学院生と福島大学の経済経営学類の3年生が講師を務め、彼らの日頃の勉学へ向き合う姿勢などが滲み出る意識の高さを思わせるセミナーとなりました。

会津大学の学生からは、大学・大学院ってどんなところ？ということを中心に、大学選びには就職先をイメージすることが大切であるなど、体験談を交えて、時にまじめに時に笑いを取りながら語ってくれました。

福島大学の学生からは、事前に集めた高校生からの質問に基づき、受験勉強をどう乗り切るかの話を中心に語ってもらいました。

自身の受験勉強はもちろん、学習塾でのアルバイト経験を基に、どういったところで躓きやすいか、モチベーションをいかに維持して勉強を続けていくかなどを話しました。

どちらの学生講師も、大学では主体性が大切で、自分から行動を起こすことによって見える世界が広がってくる、周りが助けてくれるということ伝えていました。

こうした実体験に基づく話に対し、生徒の皆さんはじめ、先生方も真剣に聞き入っている様子でした。

大学は皆さんの挑戦を応援しています！

このセミナーは、福島東稜高等学校で毎年行っている夏の勉強合宿の中日に実施されました。リアルな大学生の話を聞いて、後半戦へのモチベーションアップに繋がったら幸いです。



ACF事務局から

食欲の秋を愉しむ

ACF事務局 研究員 岩本正寛

天高く馬肥ゆる秋。食べ物の美味しい福島県に暮らす宿命か、私のお腹まわりも順調に肥えています。

さて、以前もこのコーナーで書いたことですが、この仕事をしているといろいろな大学の学食にお邪魔をします。ついに9月30日(月)の「大学見学会」にて、郡山市内でまだ行けていなかった郡山女子大学の学食デビューを果たしました！ 聞くとところによれば、ホテルの総料理長だった方をお迎えした学生食堂に生まれ変わったとのこと。食物栄養系の学科を持つ大学として、食にこだわりを持つという視点とその教育効果は有意義なものだと思いますし、実際、美味しいんです。学食体験を含む「大学見学会」の段取りを整えてくださった総務部の皆様、ありがとうございました！

それからこれは個人的なことになりますが、10月初旬に宮崎県に旅行して参りました。宮崎県といえば、こちらご出身の会津大学のK先生。10年近いお付き合いに甘え、旅先から「美味しいお店はありますか」とFacebookを通じて尋ねましたところ、瞬時にお返事をいただいたばかりか、私の趣味を熟知された観光情報もどっと届きました。出身県に誇りと愛着を持っておられることがよくわかる、熱意と誠意の籠ったご対応には感激でした。

こうして順調に、私のスマホの中には美味しいごはんの写真が増えていきます。健康診断の結果が返ってくるまでは、この調子で食道楽を楽しみたいと思います。



左写真：郡山女子大学のランチで、この日はタンドリーチキン。これでなんと500円。
右写真：宮崎名物のチキン南蛮の発祥とされるお店でいただいた、本場のチキン南蛮。

今後の予定

【未来の起業家育成プログラム（シンガポール視察研修）】

※台風19号の影響により、いわき会場、福島会場、郡山会場の日程を再調整中です。

詳細が決まり次第各会員校を通じて連絡いたします。

10月17日(木) キャリアディスカバリーセミナー（会津会場：会津大学）16：00～18：30

11月16日(土) キャリアディスカバリーセミナーワークショップ（郡山市金透分室）13：30～16：30

12月14日(土) 第1回海外視察研修説明会（郡山市市民交流プラザ）13:00～18：30

【子どもと青年の異世代交流事業】

11月17日(日) フォレストパークあだたら

【高大接続事業】

10月31日(木) 会津若松ザベリオ学園高出前授業

12月4日(水) 安積黎明高校研究発表会



福島市金谷川1番地 福島大学 地域連携課内
アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

【TEL】024-548-5295

【E-mail】acf@adb.fukushima-u.ac.jp

【URL】<http://acfukushima.net/>

<http://acfukushima.net/News/renkeibacknum.html>

←バックナンバーはこちらから

【Facebook】<http://www.facebook.com/ACFukushima/>